

新型コロナワクチン予防接種について(説明書)

新型コロナウイルス感染症は呼吸器感染症であるため、症状は発熱・咽頭痛・咳などが中心となります。潜伏期間は、オミクロン株となってからはそのほとんどが2～3日と短くなっています。感染経路は、飛沫感染が中心ですが、閉鎖空間でのエアロゾル感染があります。基礎疾患がある場合や高齢者での重症化率、致死率は高い感染症です。

予防接種を受けることが適当でない方

1. 接種当日、明らかに発熱のある方(通常 37.5 度以上)
2. 重い急性疾患にかかっている方
3. ワクチンに含まれる成分によって重度の過敏症の既往歴のある方
4. コロナワクチン接種後に血小板減少症を伴う静脈もしくは動脈の血栓症を起こしたことがある方、毛細血管漏出症候群の既往歴のある方（一部のワクチンに限る）
5. その他、医師が予防接種を行うことについて不適当な状態と判断した方

予防接種を受ける際に、担当医と相談が必要な方

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患がある方
2. 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方
3. 過去にけいれんを起こしたことがある方
4. 過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
5. ワクチンに含まれる成分によってアレルギーが起こるおそれがある方
6. 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害がある方

使用するワクチンについて

国の審議会等で有効性や安全性を確認したうえで、薬事承認されたものを使用します。使用するワクチンは医療機関ごとに異なります。

副反応(※ワクチンによって頻度・症状は異なります)

以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎がみられることがあります。

(1) 発現割合 50%以上：接種部位の痛み、頭痛、疲労、倦怠感、筋肉痛 等

(2) 発現割合 10～50%

悪寒、関節痛、発熱、接種部位の腫れ・赤み・かゆみ・しこり、吐き気・嘔吐、リンパ節の腫れや痛み 等

(3) 発現割合 1～10%

接種後 7 日以降に接種部位に出現する痛み・腫れ・赤み・しこり・熱感、四肢痛 等

接種後の注意事項

1. 予防接種後 24 時間は副反応の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後の 30 分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
2. 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動や大量の飲酒を避けてください。
3. 予防接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないようにしてください。

ワクチン接種による健康被害の救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障がいが残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込むときは、本巣市役所健康福祉部健康支援課（☎058-320-0153）へご相談ください。

(R7.8 月時点)